午後

2級第二次

令和8年度

2級造園施工管理技術検定

第二次検定試験問題

次の注意をよく読んでから解答してください。

【注　意】

1. これは第二次検定の試験問題です。表紙とも6枚あります。
   鉛筆又はシャープペンシルで，解答用紙に試験地・受検番号・氏名を記入してください。
   (万年筆・ボールペンの使用は不可)
   解答を訂正する場合は，消しゴムできれいに消してから訂正してください。

2. 試験問題は，全て必須です。全て解答してください。

3. 試験問題の漢字のふりがなは，問題文の内容に影響を与えないものとします。

4. 試験問題の余白は，計算等に使用してもさしつかえありません。

5. 解答用紙は，試験監督者に直接提出してから退室してください。
   解答用紙は，いかなる場合も持ち帰りできません。

6. 試験問題は，試験終了時刻（16時00分）まで在席した方で，希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は，持ち帰りできません。

この試験問題用紙は再生紙を使用しています。

※　問題１，問題２は必須問題です。全て解答してください。

問題１　次に示す〔工事数量表〕及び〔工事に係る条件〕に基づく造園工事の施工管理に関して，以下の設問(1)～(4)について答えなさい。

〔工事数量表〕

工種	種別	細別	規格			単位	数量	備考
植栽工	高木植栽工	ソメイヨシノ	H(m)	C(m)	W(m)	本	30	二脚鳥居型支柱（添え木付）
			3.0	0.12	1.0			
		シラカシ	H(m)	C(m)	W(m)	本	20	八ツ掛支柱（丸太三本）
			5.0	0.40	1.8			
	地被類植栽工	ノシバ	36 cm × 28 cm × 10 枚			m^2	500	目地張り整地を含む
移植工	根回し工	ケヤキ	H(m)	C(m)	W(m)	本	3	*
			7.0	0.60	4.0			
	高木移植工	ヤマモモ	H(m)	C(m)	W(m)	本	10	八ツ掛支柱（丸太三本）
			3.0	0.40	2.0			

注）表中の＊欄は，出題の趣旨から記入していない。

〔工事に係る条件〕

・本工事は，関東地方に位置する近隣公園の未供用区域において，上記の工事数量表に基づく工事を施工するものである。
・根回し工のケヤキは，園内の別の場所に移植するために根回しを行う。
・高木移植工のヤマモモは，約 1 km 離れた圃場から移植する。
・本工事の工期は，1 月 15 日から 6 月 30 日までとする。

(1) 高木植栽工に関し，以下の(イ)～(ニ)について答えなさい。

(イ) 「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」における用語に関する次の記述の A ～ D に**当てはまる適当な語句を，下記の選択欄の中から選び解答欄に記入**しなさい。

「樹木の品質は，A と B によって定めることが出来る。このうち A は，樹形の良否が重要であり，それを構成する要素としては，幹（高木のみ適用）・C の配分（出方）・C の密度・D の位置があげられる。」

（選択欄）

樹姿	見映え	樹勢	仕立て	樹高	幹周
根	枝葉	下枝	病虫害	根鉢	花

(ロ) シラカシの「W」に関する次の記述の A ，B に**当てはまる適当な語句又は数値を，下記の選択欄の中から選び解答欄に記入**しなさい。

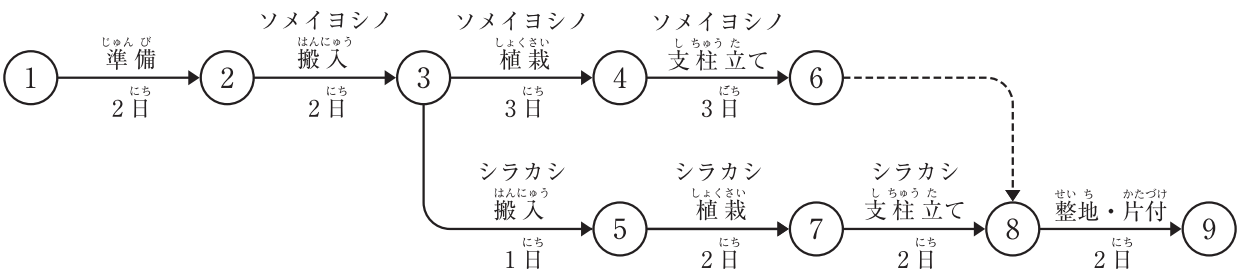
なお，規格の判定にあたっては，「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」の寸法規格によることとする。

「現場に搬入予定のシラカシについて，四方面に伸長した枝（一部突出した枝は含まない）の幅を測定したところ，測定値が最大値1.9m，最小値1.5mであった。このとき，「W」の値は A mとなるため，このシラカシは工事数量表の「W」の寸法規格を B 。」

（選択欄）

1.5	1.7	1.9	3.0	3.4	3.8
満たしている		満たしていない			

(ハ) 下図に示す高木植栽工のネットワーク式工程表から読み取れる**クリティカルパスの日数を記述**しなさい。



(ニ) シラカシの植付け作業における**植え穴の底部の仕上げ**に関する**留意事項を具体的に記述**しなさい。(ただし，土壌改良や施肥に関する内容は除く。)

(2) 根回し工に関し，以下の(イ)，(ロ)について答えなさい。

(イ) 根回しに関する次の記述の［A］，［B］に**当てはまる適当な語句を，解答欄に記入**しなさい。

「根回しの方法には，［A］式と［B］式の2種類がある。［A］式の根回しは，掘取りの鉢径を決めて，鉢の外側を掘り，主要な根以外は切断し，残した根のはく皮を行い，埋め戻して作業を終える。［B］式の根回しは，幹の周囲を簡単に掘り回し，出た根を切り離す方法で，比較的浅根性，非直根性の樹種で行われる。」

(ロ) ケヤキの**根回し後の樹木養生として行う作業内容を5つ，解答欄に記述**しなさい。

(3) 高木移植工に関し，以下の(イ)，(ロ)について答えなさい。

(イ) 次の記述は本工事におけるヤマモモの**掘取り作業**を示したものである。
次の記述の［A］～［F］に**当てはまる最も適当な語句又は数値を，下記の選択欄の中から選び解答欄に記入**しなさい。

「根元直径0.15 mのヤマモモの移植の準備作業として，雑草類を移植先に持ち込まないための［A］のかきとりや，下枝を縄で上の方向に向けて幹に縛りつける［B］などを行った。
根鉢の直径を［C］mの大きさと定め，その周りを掘り進め側土を削り，側根の切り口は［D］。
掘取りでは土付き鉢とするために，根巻きを行った。まず，根鉢の周囲に沿って上部から順に下部へとわら縄を横巻きする［E］を行った。［E］の後，根鉢の上から底へ，底から上へとわら縄を上下に巻いていく［F］を行った。」

(選択欄)

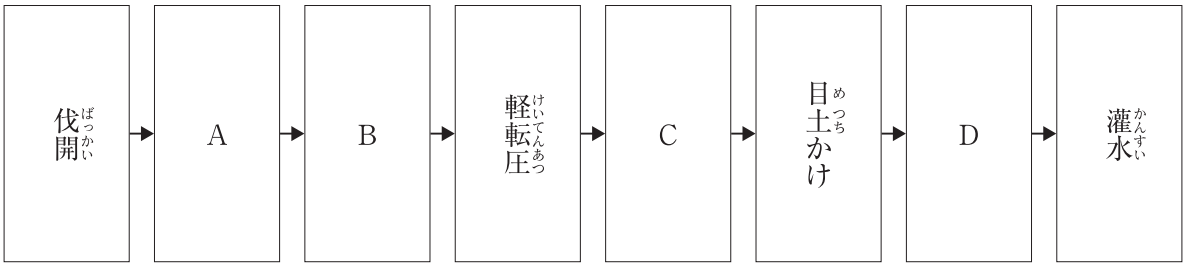
細根	水鉢	上鉢	太根
枝しおり	枝おろし	枝振り	枝透かし
0.2	0.6	1.0	1.4
ハサミで切り直した	棒で突き固めた		風を当て乾燥させた
こも巻き	揚巻き	泥巻き	樽巻き

(ロ) 八ツ掛支柱の取付けに関する次の記述の［ A ］～［ D ］に**当てはまる適当な語句又は数値を，解答欄に記入**しなさい。

「支柱の取付けにあたっては，支柱の丸太を3方向から均等な開き方で，斜めに木を支える形で取り付ける。それぞれの丸太は，樹幹（主枝），又は他の丸太と交差する部位［ A ］箇所以上で結束する。
支柱の丸太と樹幹の取付け部分は，［ B ］を巻き，［ C ］で結束する。
支柱を安定させるため，支柱の基部は地中に埋めて，地際に打ち込んだ［ D ］に結束する。」

(4) 地被類植栽工に関し，以下の(イ)～(ハ)について答えなさい。

(イ) 下図に示す作業手順で張芝工事を行うこととした。図の［ A ］～［ D ］に**当てはまる適当な作業名称を，下記の選択欄の中から選び解答欄に記入**しなさい。



（選択欄）

ローラかけ	不陸整正	耕耘	植付け

(ロ) **目土かけを行う目的を2つ記述**しなさい。

(ハ) 張芝の施工後から工期末までに行う**芝生養生の作業名称を3つ記述**しなさい。
（ただし，目土及び灌水に関する内容は除く。）

問題 2　次に示す〔工事数量表〕及び〔工事に係る条件〕に基づく造園工事の安全管理に関する以下の設問(1)～(4)について答えなさい。

〔工事数量表〕

工種	種別	細別	規格			単位	数量	備考
移植工	高木移植工	クスノキ	H(m)	C(m)	W(m)	本	5	
			5.0	0.60	2.0			
樹木整姿工	高中木整姿工	イチョウ	H(m)	C(m)	W(m)	本	10	
			15.0	1.80	8.0			
		ケヤキ	H(m)	C(m)	W(m)	本	10	
			7.0	0.60	4.0			

〔工事に係る条件〕

・本工事は，供用中の地区公園（4 ha）の一部区域（約 0.5 ha）の再整備工事として，上記の工事数量表に基づく工事を施工するものである。
・移植するクスノキは，供用区域内で生育するものを掘り取って移植する。
・公園区域内は平坦地であり，架空線などの障害物はない。

(1)　施工中の作業場及び周辺において，公園利用者の安全を確保するために行う措置について，次の記述の［A］～［D］にあてはまる**適当な語句を，解答欄に記入**しなさい。

・作業場内に誤って公園利用者が立ち入ることがないよう，［A］を設置し，必要に応じて誘導員を配置して公園利用者を誘導させる。
・作業場内に誤って公園利用者が立ち入ることがないよう，作業場の出入口は，原則として［B］し公園利用者の出入りを禁ずる標示板等を掲げる。
・誘導員を配置して公園利用者が近くを通るときは，作業を［C］する。
・［D］の通路と公園利用者の通路を区分して，公園利用者の動線を確保する。

⑵　高木移植工において，移動式クレーン及びバックホウを用いてクスノキの移植作業を行うことにした。同作業における安全管理に関し，以下の(イ)～(ハ)について答えなさい。

(イ)　次の記述の［　A　］，［　B　］にあてはまる**最も適当な語句を下記のア～エの中から選び，その記号を解答欄に記入**しなさい。

樹木の移植にあたってつり上げ荷重 4.9 t の移動式クレーンを用いることとし，「労働安全衛生法」に従い，その運転業務を［　A　］が行い，玉掛け業務を［　B　］が行うこととした。

ア．移動式クレーンの業務に関する安全のための特別の教育を受けた者
イ．小型移動式クレーンの運転技能講習を修了した者
ウ．玉掛けの業務に関する安全のための特別の教育を受けた者
エ．玉掛けの技能講習を修了した者

(ロ)　次の記述は，移動式クレーンによるクスノキのつり上げ作業に関し，安全を確保するために行うべき措置を示したものである。**下線部の(a)～(d)について，その記述が適当な場合には○印を，適当でない場合は適当な語句又は数値を，それぞれ解答欄に記述**しなさい。

・(a)つり上げ荷重とは，移動式クレーンの構造及び材料ならびにジブの傾斜角及び長さに応じて負荷させることができる最大の荷重から，フック等のつり具の質量を差し引いた荷重のことであり，つり荷の荷重が(a)つり上げ荷重以内となる移動式クレーンを用いた。
・つり角度と水平面とのなす角度は(b) 60° 以下とした。
・移動式クレーンの運転に係る合図者の人数を(c) 2 人とし，あらかじめ打ち合わせた内容で明確に合図を行った。
・荷をつる際，介錯ロープをつり荷の(d)中央部に取り付け，合図者が安全な位置で誘導した。

(ハ)　バックホウを用いて樹木の植え穴掘りの作業を行うに当たり，**バックホウの運転者が行うべき安全管理上の措置について具体的に 2 つ記述**しなさい。
（ただし，点検など作業を開始する前に行う措置，埋設物に対する措置，及びバックホウの使用中に異常が発見された場合に行う措置に関する内容は除く。）

(3) 次の記述は，イチョウの樹木整姿工における安全管理に関し，労働安全衛生規則に基づく，高木の剪定作業における安全管理上の措置について示したものである。**下線部の(a)～(d)について，その記述が適当な場合には○印を，適当でない場合は適当な語句または数値を，それぞれ解答欄に記述**しなさい。

・高所作業車を用いた作業に際し，その日の作業を(a)開始する前に，制動装置，操作装置及び作業装置について点検を行った。

・作業床の高さが12 mの高所作業車の運転は，高所作業車運転の(b)特別教育を修了した者にさせた。

・高所作業車の転倒による労働者の危険を防止するため，高所作業車の(c)ブームを張り出した。

・(d)3 m以上の高所から剪定枝等を投下する場合は，適当な投下設備を設け，監視人を置くなど労働者の危険を防止するための措置を講じた。

(4) ケヤキの枝葉の剪定において，高さ2 m以上の高所で樹上作業を行うに当たり，**樹上の作業員が作業上の危険を回避し，自らの安全を確保するために留意すべき事項を具体的に2つ記述**しなさい。
（ただし，移動はしご，脚立，高所作業車，服装，保護帽（ヘルメット）及び墜落制止用器具に関する内容は除く。）